

当社は、震災直後の救援物資および義捐金（3億円）拠出をはじめ、総額108億円の規模で「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「文化・芸術・スポーツを通じた支援」「チャレンジド・スポーツ支援」の分野を中心に復興支援活動に取り組んでいます。

■ 「漁業の復興支援」

岩手・宮城県の漁業支援として、漁船（共同利用船）取得のための漁業者の負担を軽減すべくこれまでに総額55億円を拠出しました。小型漁船、大型遠洋マグロ漁船などの取得費用の一部や沿岸漁業の支援にお役立ていただいています。

■ 「未来を担う子どもたちの支援」

未来の漁業の担い手となる水産高校（青森・岩手・宮城・福島県）7校の被災生徒を対象に「サントリー・S C J 水産業復興奨学金」を実施し、のべ2,453名に支給しました。また、「石巻市子どもセンター」（宮城県石巻市）、「山田町ふれあいセンター」（岩手県山田町）、さらに計5施設の学童施設（福島県いわき市・相馬市・南相馬市）を建設し、子どもたち向けの体験活動などを開催しています。さらに、米国大使館・米日カウンシルージャパンと協働で「TOMODACHI サントリー音楽奨学金」を創設し、計10名の学生の留学を支援しました。

※S C J：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

■ 「文化・芸術・スポーツを通じた支援」

「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金」の設立、「サントリー&仙台フィル みんなのまちのコンサート」や、バレーボールチームのサントリーサンバーズ、ラグビーチームの東京サントリーサンゴリアスによるスポーツ教室の開催など、グループ横断で活動しています。

■ 「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）支援」

チャレンジド・スポーツの振興や世界レベルの選手の育成・強化を支援するために「チャレンジド・アスリート奨励金」を実施し、これまでに個人部門のべ294名、団体部門のべ129団体、総額約2億600万円を支給しました。また、車いすバスケットボール選手をはじめ、被災地の学校や競技施設での選手による競技体験会の開催とともに、施設改修・競技用具寄贈などの基盤強化・環境整備、車いすスポーツの導入教室を実施しています。

■ 「みらいチャレンジプログラム」

岩手県・宮城県・福島県で地方創生や地域活性化を目指す団体・個人の「新たな1歩」を応援する奨励金事業を、3年間総額1億円の規模で、震災から10年が経過した2021年にスタート。（公社）日本フィランソロピー協会や各県の新聞社と共に、地域団体との連携のもと、3年間で計110件の新しい活動をサポートしてきました。